

一般質問

9月定例会では、17人の議員が一般質問を行いました。(順不同)

Q&A



一般質問とは、本会議で議員が市政全般にわたって市長等(執行機関)に対して疑問点を質問したり、政治姿勢を明らかにしたりするものです。



田中笠窪線・交差点での安全確保に対する方向性は

【創政会】 山田 昌紀

Q 田中笠窪線の整備区間が令和4年に開通すると、他の市道と交差する部分に数箇所あり、その中には通学路に指定されている場所もある。

交差点での安全確保に對する方向性について、聞きたい。

協議の結果、信号機については、県道44号と、伊勢原小学校の通学路であり伊勢原高校の生徒など歩行者交通も多い市道109号線に歩行者用の押しボタン式の信号機が設置される。

横断歩道については、市道73号線に1カ所設置される。

【その他の質問】

◎災害時の避難所について



J A湘南とJAいせはらの合併について

【創政会】 小沼 富夫

Q J Aの合併により、市内に本店を置くことや、伊勢原らしさである都市近郊農業地としてのイメージがさらに強まり喜ばしいことと考えるが、市長の、見解を聞きたい。

いても、農業従事者の高齢化や後継者不足など、農業を取り巻く環境が厳しさを増している。新JA誕生が、地域農業や地域経済発展の契機となるものと期待するとともに、合併後もさらに連携強化を図り、地域農業振興に努めていきたいと考えている。

【その他の質問】

◎平成30年度浸水対策調整池整備工事について
◎ふるさと納税について

A 【市長】 今回の合併は、両JAが、JAおよび地域農業に関わるさまざまな課題に向き合い、スケールメリットの發揮や合理化の視点等から将来を見据え決断されたものと理解している。本市にお



市民からの写真情報による道路整備の効率化について

【いせはら未来会議】 相馬 欣行

Q 他市では、道路の悪い箇所を市民が写真で連絡するシステムを採用している。

本市でも取り入れることで、道路補修等のスピード化等が図られると考えるが、安全対策に対し、市民の協力を得る仕組みの構築について、見解を聞きたい。

を活用したシステムは、情報提供時に、場所の特定や状況の把握ができて、迅速な対応が可能になることや、市民が情報を提供しやすいなどのメリットがある。

今後、早期導入に向けて、関係部署と連携し検討していきたいと考えている。

【その他の質問】

◎高齢化する農業従事者と外出支援について



小学校給食の良さが、民間委託によって、失われるのでは

【日本共産党】 宮脇 俊彦

Q 現在行っている、直営の小学校給食は温かくておいしいと、児童、保護者に好評を得ているが、なぜ民間委託するのか。また、直営の方式と味や質は変わらないとする根拠について、聞きたい。

引き続き、地場食材の活用、食物アレルギーへの対応、食育の推進など、民間委託後もこれまでと変わらない学校給食を提供していく。また、これまでと同様に、国等で定められた基準や調理指示書に基づいて、衛生管理や調理を行うため、直営校と変わらない給食を提供できると考えている。

【その他の質問】

◎公共施設等総合管理計画の到達状況について
◎市民の暮らしの状況について

A 【学校教育担当部長】 給食調理業務の民間委託は、今後も厳しい財政状況が見込まれる中、民間事業者への委託を推進し、効率的な行政運営を図ることを目的に試行実施するものであるが、引



自転車死亡事故の低減へ、自転車用ヘルメット着用を

【日本共産党】 川添 康大

Q 自転車死亡事故は、ヘルメット着用により、4分の1に低減されるとされ、事故を防ぐ有効な手段となり得る。県では、今年4月から条例が施行され、保護者に対し、ヘルメット着用等の努力義務と、また、10月からは、自転車損害賠償責任保険加入の義務化も規定されている。着用率が低くなる小学校高学年、中学生への啓発はどのように行っているのか。

啓発チラシの配付や、児童・生徒にヘルメット着用および、損害賠償保険加入の必要性について、指導・啓発を依頼した。今までも、さまざまな啓発を実施しているが、十分進んでいないことも認識している。現在、効果測定のアナケート調査を実施しており、今後も教育委員会、学校と連携し、警察署や関係団体等と協力し、児童生徒および保護者への啓発を継続的に行っていく。

【その他の質問】

◎新東名高速道路の工事に伴う水がれ問題について



ごみ有料化につながらないための方策について

【いせはら未来会議】 安藤 玄一

Q 紙ごみの分別について、ひもで縛る以外に、紙袋や段ボール箱等にまとめて搬出する方法があるが、ある程度の量になると高齢者や女性にとっては、大変な作業になると考える。

この手間を避けるため、可燃ごみの搬出時に、紙ごみも一緒に入れてしまいう家庭も多いと考えるが、ごみステーションの状況を聞きたい。

【その他の質問】

◎経済環境部長 資源

収集日においては、適正に搬出されている場合がほとんどである。一方、燃やすごみの収集日に出されたごみ袋等を確認すると、資源と入り得る紙類の混入が多く見受けられる。混入がなくなれば、かなりの減量効果が見込まれるため、搬出のルールの徹底等について、市の広報紙等、既存の情報伝達媒体で、幅広く市民に協力を求めていると考えている。



さらなるごみの減量化・資源化について

【創政会】 長嶋 一樹

Q 総合計画やごみ処理基本計画には、ごみの減量化・資源化を実現するための事業が掲載されており、一定の成果を上げているが、老朽化により令和7年度末までに伊勢原清掃工場90トン炉を停止しなければならぬ課題があり、さらなる減量化・資源化が求められる。

今後の施策の展開について、聞きたい。

【その他の質問】

◎熱中症の事故防止策について



公共施設にも防犯カメラ設置の推進を

【いせはら未来会議】 橋田 夏枝

Q 防犯カメラの設置は、犯罪抑止効果等が期待できる一方、被撮影者のプライバシー権を侵害するおそれがあるなど賛否両論あるが、正しく運用すれば、設置の意味は十分にある。

本市の公共施設における防犯カメラ設置の考え方について、聞きたい。

【その他の質問】

◎総務部長 本市では過去に公共施設に防犯カメラを設置した結果、施設の利用者からの苦情により撤去した例もあるこ

とから、積極的に取り組んでこなかったのが実情であるが、利用者の安全性確保などの理由から必要性は高まっている状況である。防犯カメラの設置により撮影される方のプライバシーに配慮しながら設置場所等の検討を進め、安全で安心なまちづくりを推進していきたいと考えている。

【その他の質問】

◎行政センター地区再整備計画の見直しについて